

ラムバス®用インピーダンステスト

ラムバスとは？

ラムバスとは 800MHz に動作する PC 用先端の高速メモリー設計技術です。そしてこれには PC マザーボード及び RIMM と呼ばれるメモリー基板のインピーダンス整合を必要とします。ラムバス・システムのインピーダンスは 28Ω で許容値は $\pm 10\%$ で、実際は非常に厳しい仕様です。この仕様を満たさない限りラムバスは機能しません。詳しくは <http://www.rambus.co.jp> にアクセスして下さい。

ラムバスのテスト

ラムバス用インピーダンス基板は PolarCITS500s 特性インピーダンス測定器を用いてテストでき、その工程に関しては以下の資料で紹介されています。



CITS500s を用いたラムバスインピーダンス測定の手順 (Microsoft Word 97)

Polar Instruments Ltd

2000 年 1 月 11 日更新

圧縮 ZIP ファイル(260kb)

インテル社ウェブサイトにはラムバスに関する情報、特に TDR(Time Domain Reflectometry) を用いたラムバスのテスト方法に関して記述したアプリケーション・ノート等の情報が掲載されています。



Printed Circuit Board (PCB) Test Methodology

Intel Corporation



Controlled Impedance Design and Test

Intel Corporation Presentation

Polar ではラムバステストには 28Ω IP プローブを用いて CITS500s 特性インピーダンス測定器(4点校正 32bit ソフトウェアバージョン 5.00 以上)を採用されることをお勧めしています。CITS100、CITS200、CITS500、CITS500s カスタマーはトレード・イン・オプションが可能ですので以下までご連絡下さい。

saka@oppc.co.jp